

千住のタカラ湯店主が語る 「銭湯の変遷」



平成29年度末、足立区の銭湯は都内で3番目に多い33軒あるといわれています。銭湯は全国的に減少傾向にあり、歯止めがかからない現状です。しかし銭湯は今、“伝統文化”として注目され見直されています。そこで今、銭湯の歴史や役割、銭湯文化について千住元町のタカラ湯店主 松本康一氏に語っていただき、銭湯の変遷について学びます。

毎回 火曜日 午後2時～4時 ※3回目は13:00～14:30

回・月日	講義内容	講師
第1回 6月5日	昭和初期からの銭湯の変遷 ～銭湯の歴史、役割、そして文化～	松本 康一 氏 ・タカラ湯店主 ・あだち銭湯文化普及会員
第2回 6月12日	銭湯の建築の特徴 ～宮作り、タイル、カラン、格天井、番台、坪庭、浴槽、煙突、背景画～	
第3回 6月19日	現地学習（タカラ湯） 入浴体験（無料） ～防災協力井戸、煙突屋、釜屋、穴蔵屋、等～	※3回目はタカラ湯を会場とし、講座終了後、ご希望の方は入浴をすることができます。

会 場 足立区生涯学習センター（学びピア21内）
（足立区千住5-13-5） 5階 研修室4

受講料 2,000円（全3回分、初日に会場でお支払い下さい）
定員 30名（抽選）

申込方法 往復はがきに、住所、氏名（フリガナ）、電話番号
「銭湯の変遷」と明記し下記へ郵送下さい（連名可）

申込先 〒120-0034 足立区千住5-13-5

問合せ先 足立区生涯学習センター内 あだち区民大学塾事務局
電話/FAX 03-5813-3759（平日午後1時～5時）

申込締切 平成30年5月22日（火）必着

共 催 NPO法人あだち学習支援ボランティア「^{がくがく}楽学の会」
足立区・足立区教育委員会

